

区民住宅使用料(家賃)一覧

区民住宅の家賃は住宅使用料といいます。この住宅使用料は住宅ごと部屋タイプごとに区条例で定めている額(契約家賃)になります。ただし、この住宅使用料の額には減額制度があり、その減額制度を利用した後の住宅使用料を使用者負担額といいます。

住宅使用料の減額制度は、国の補助金を利用して入居者の使用料負担の軽減を図るものです。

減額を受けるためには、入居後に減額申請を毎年提出いただき、その際に算出される所得基準額により減額後の使用者負担額が決定されます。

所得基準額を超える場合の使用者負担額は、前述の契約家賃の額となります。

なお、減額制度には終了期限があります。また、所得の額などにより、減額を受けられない場合があります。この制度終了後は、原則として契約家賃の額が使用者負担額となります。また、その間に使用者負担額は毎年3.5%ずつ値上げしていきます。

以下の各住宅の使用者負担額は、令和元年12月から令和2年11月までのものです。

所得基準額はおおむね次の式で求められます。

所得基準額 = (家族の年間所得金額の合計 - 38万円 × 扶養親族人数) ÷ 12月

メイプル中目黒 減額制度終了年月 令和3年1月		部屋タイプ					
		A	B	C	D	E	F
契約家賃(区条例で定めた本来の使用料の額)		154,500	169,400	157,400	194,900	193,100	179,100
減額制度利用した場合の使用者負担額							
所得基準額	区分	A	B	C	D	E	F
200,000円～238,000円	第1-1	127,200	139,400	129,800	160,600	159,100	147,600
238,001円～268,000円	第1-2	139,400	152,800	142,000	175,900	174,400	161,600
268,001円～322,000円	第2	153,800	168,600	156,700	194,100	192,400	178,500
322,001円～397,000円	第3	154,500	169,400	157,400	194,900	193,100	179,100
397,001円以上		154,500	169,400	157,400	194,900	193,100	179,100

五反山ヒルズ 減額制度終了年月 令和3年3月		部屋タイプ		
		G1	G2	H
契約家賃(区条例で定めた本来の使用料の額)		187,200	187,200	187,200
減額制度利用した場合の使用者負担額				
所得基準額	区分	G1	G2	H
200,000円～238,000円	第1-1	150,000	150,000	150,000
238,001円～268,000円	第1-2	164,200	164,200	164,200
268,001円～322,000円	第2	181,200	181,200	181,200
322,001円～397,000円	第3	187,200	187,200	187,200
397,001円以上		187,200	187,200	187,200

サント・コア目黒 減額制度終了年月 令和4年3月		部屋タイプ		
		A	B	C
契約家賃(区条例で定めた本来の使用料の額)		182,400	182,300	182,500
減額制度利用した場合の使用者負担額				
所得基準額	区分	A	B	C
200,000 円～238,000 円	第 1-1	145,100	145,100	145,300
238,001 円～268,000 円	第 1-2	159,000	159,000	159,100
268,001 円～322,000 円	第 2	175,500	175,500	175,600
322,001 円～397,000 円	第 3	182,400	182,300	182,500
397,001 円 以上		182,400	182,300	182,500

東が丘一丁目住宅 減額制度終了年月 平成27年1月		部屋タイプ
		A
契約家賃(区条例で定めた本来の使用料の額)		175,000